

当院では、下記の臨床研究に協力しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

血液型不適合性黄疸に対するガンマグロブリン製剤投与に関する実態調査

【目的】

血液型不適合性黄疸は早発黄疸と呼ばれ、早期に発生して重症化するリスクがあります。核黄疸と呼ばれる脳性麻痺の原因を防止するためには、交換輸血が最も有効性のある治療法ですが、新生児に対して侵襲性のある治療法です。そこで、交換輸血を回避するために、ガンマグロブリン製剤を投与する治療法が提唱されてきました。しかしながら、わが国ではガンマグロブリン製剤は新生児血液型不適合性黄疸に対する保険適応がないため、実際の臨床現場でどの程度使用され、どの程度有効であるかの情報が存在しません。そこで、全国の周産期センターに入院した血液型不適合性黄疸に対するガンマグロブリン製剤投与の実態を調査し、その安全性と有効を明らかにすることを目的としています。

【対象】

2009年1月から2013年12月の間に血液型不適合性黄疸と診断され当院に入院し治療を受けた方

【方法】

診療記録より当院医師が情報を収集し、調査票へ記載します。この調査票は研究代表者へ郵送され、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（出生年、性別、在胎期間、出生体重、血液型不適合性黄疸の診断の有無、血液型不適合抗体の有無、ガンマグロブリン製剤使用の有無、交換輸血の有無、貧血に対する治療等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2023年3月31日まで

【研究代表者】

東京女子医科大学母子総合医療センター 和田 雅樹

【当院の責任者】

小児科 松崎 陽平

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号
電話 045-316-4580（病院代表） 小児科 松崎 陽平

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。